



2024年6月18日

各 位

上場会社名
本社所在地
代表者名上 新 電 機 株 式 会 社
大阪市浪速区日本橋西1-6-5
代表取締役兼社長執行役員 金谷 隆平
(コード:8173)

お問い合わせ先

取締役兼常務執行役員 田中 幸治
経営企画・人財戦略担当
(TEL) 06-6631-1221

弊社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

弊社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すコーポレートガバナンス強化の一環として、各事業年度毎に取締役会全体の実効性等の分析・評価を行い、その改善に向けた継続的な施策推進に取り組んでおります。

この度、2023年度(2024年3月期)について取締役会の実効性評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1) 評価のプロセス

取締役会の任意の諮問機関として、社外取締役と監査役により構成する「取締役会評価委員会」を設置し、同委員会が主体となって取締役会の実効性に関する調査を実施しました。その集計結果をもとに、取締役会において取締役会の実効性等の分析及び評価を行い、改善に向けた施策を決定いたしました。

2) 評価の方法

①アンケート調査の実施

取締役会メンバーである取締役、監査役を対象として、以下の評価カテゴリー毎に複数の項目からなるアンケート用紙を配布し、回答を得ました。

対象者	取締役、監査役
回答方式	無記名方式
評価のカテゴリー	1.取締役会の構成(員数、多様性) 2.取締役(会)の役割・責務 3.取締役(会)の資質・知見・スキル 4.取締役会の運営・審議 5.取締役会の監督(指名・報酬・後継者育成等) 6.取締役の適切なリスクテイクを支援する体制 7.社外取締役の役割・期待と支援体制 8.役員間並びに社外取締役と業務執行取締役のコミュニケーション 9.2023年度の課題とされた事項の改善状況
結果の集計	アンケートの結果は社外取締役、社外監査役が集計し、取締役会において実効性等の分析及び評価に活用しました。

②取締役インタビューの実施

アンケートの集計結果をもとに、社外取締役と社外監査役が業務執行取締役を対象として取締役会の実効性に関するインタビューを実施いたしました。

③取締役会での議論と改善に向けた取り組みの決定

アンケートの集計結果、取締役インタビューの結果を取締役会評価委員会でとりまとめ、取締役会の運営について実効性が高いと評価される点、改善・充実に向けた取り組みが期待される点を整理し、取締役会に報告しました。

この報告を受け、取締役会の一層の機能強化と実効性向上に向けた課題を抽出し、改善・充実のための取り組みを決定いたしました。

3) 2023年度の取り組みの結果について

まず、2023年度の取り組み課題については、取締役会で以下のとおり評価いたしました。

課題) 中長期の経営戦略のブラッシュアップと資本コストを意識した効率経営の推進

結果) 2023年度は中期経営計画「JT-2025経営計画」をスタートさせ、資本コストを意識した効率経営を推進するため資本コストの認識を示し、ROE、ROICなどの資本収益性指標の計画を定めて収益力の強化と経営の効率化に努めました。

4) 2023年度の評価結果の概要

取締役会評価委員会の報告を踏まえて取締役会で審議した結果、取締役会運営においては、以下のとおり継続的な改善を重ね実効性は概ね確保されていると評価しています。

(取締役会の実効性向上の取り組み)

- ・取締役会を構成する多様な知見を活かした多角的な議論
- ・執行役員会への大幅な権限委譲によるモニタリングの強化
- ・取締役報酬制度の改定による中長期視点での経営責任の明確化

一方で、初年度は資本収益性指標が計画を大きく下回り、中期経営計画「JT-2025経営計画」に記した”PBRの改善”、企業価値向上を目指す具体的な戦略に関する議論は道半ばであることから今後はさらにKGI、KPIを明確にすることにより、成長戦略そのものの解像度を一層上げていくべきとの建設的な意見がありました。

5) 2024年度の実効性向上に向けた取り組み

上記の評価結果を踏まえ、2024年度は中期経営計画「JT-2025経営計画」に沿って、引き続き

中長期の経営戦略のブラッシュアップと資本コストを意識した効率経営の推進

に取り組んでいくことといたしました。この取り組みを通じて、取締役会における議論を充実させ、取締役会の実効性の一層の向上により中長期の経営戦略の実現及び企業価値の向上に努めて参ります。

以上